



と見たかひと すみ隆仁県議会レポート

“ふるさとちば”のための政策推進を

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

9月県議会一般質問

安心して医療を受けられる体制を

歯科医師でもある驚見隆仁県議は、医療に関する造詣をもとに、千葉県の医療体制充実に向けた力を注いでいます。9月の定例県議会では一般質問に立ち、医療体制や幕張新都心におけるプロスポーツ施設整備、地域交通政策や障害者歯科医療についてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をたずねました。その概要をお伝えします。

驚見議員

医療分野において、県内では医師や看護師の確保が困難で、特に都市部以外で深刻化している。国立病院が赤字経営に陥っているとの報道もある。

こうした状況を踏まえ、国は医療人材や設備を中核病院に集中させることで、

効率的かつ質の高い医療体制を整備する政策を進めている。厚生労働省は「地域医療構想」のもとで機能分化と集約化を推進しているが、千葉県においても、医療資源の最適化と役割分担を早急に進め、県民が安心して医療を受けられる体制

を築くことが急務である。そこで何う。県立病院を含めた機能分化・集約化の必要性を、県としてどのように認識しているか。また、民間病院や大学病院などとの連携の在り方について、今後どのように進めていくのか。保健医療担当部長 地



9月県議会一般質問に登壇した驚見議員

幕張のプロスポーツ施設整備

驚見議員

現在、幕張新都心地区において、大規模スタジアムに関する動きが進行している。

一つは、千葉ロッテマリーンズの本拠地「ZOZOマリンスタジアム」に関する移転・再整備の検討、もう一つはプロバスケットボールBリーグ所属「ア

ルティーリ千葉」による新アリーナ建設が、幕張海浜公園Aブロックで構想されている。

しかし、都市インフラと都市設計の観点から見ると、地域住民の不安は決して小さくない。そこで何う。幕張新都心のにぎわい創出には、住民生活との調和と地域交通安

全の確保を前提とすべきではないかと考えるが、県の見解はどうか。

総合企画部長

現在、幕張新都心では、マリンスタジアムをはじめとした大規模集客施設の計画が進められており、地域の更なる発展が期待される一方、施設で

域医療構想では、限られた医療資源を効果的・効率的に活用し、県民が地域において安心して質の高い医療サービスを受けられるよう、病床機能の分化と連携を推進することが重要であるとしており、千葉県においては、この実現に向け、地域医療介護総合確保基金等を活用し、様々な取組を行っているところだ。

また、国は2040年に向けた新たな地域医療構想に関するとりまとめにおいて、医療機関の再編・集約化を推進するとともに、大学病院本院は、県と連携し、医師派遣機能等も含めた地域医療における役割を果たすことが期待されるとしています。

県としては、来年度策定予定の次期地域医療構想において、公立及び民間病院の更なる連携強化等に向けた取組を進めます。

のイベントが重なった場合、駅周辺の人流や周辺道路における混雑など、様々な課題も想定されます。

このため、施設整備を進めるにあたっては、地域住民が安心して生活環境を整えることが必要と考えております。

千葉市では、今後実施するマリンスタジアムの基本計画の策定等において、イベント開

要望

病院機能の分化・集約化が不可欠であり、単なる病床削減ではなく、地域ごとの役割を明確化し、救急から在宅まで切れ目のない体制を構築する必要があります。

民間病院や大学病院との連携も重要で、県が主導的役割を担うことが期待される。持続可能な体制とするためには、県が明確なビジョンを持ち、全体最適の視点から機能分化を強力に進め、県民が安心して医療を受けられる体制を整備していただきたい。

驚見議員

医療の効率化と安全性を高めるためには、電子カルテや画像診断データ

の医療機関間での共有が不可欠であるが、現状では、県立病院同士でさえシステムが異なり、十分な情報共有ができていない。

また、国ではマイナンバーカードと保険証の一体化が進められており、医療ビッグデータの活用を通じて、診療の質向上や予防医療の推進を図るべき時期に来ている。

そこで何う。県立病院間における電子カルテや画像デー

タなどの情報共有について、今後統一的なシステム整備をどのように進めていくのか。

病院局長

県立病院間で患者の情報等を共有することとは、病院間を転院する患者に対し、より速やかな診断・治療の提供が期待でき、患者の負担軽減等にも資するものと認識しております。

国では、より安全で質の高い医療を提供するため、電子カルテを標準化し、令和12年までに概ねすべての医療機関で患者情報を共有可能とすることを目標に、現在、電子カルテ情報共有サービスのモデル事業を実施しています。

県立病院におけるシステム整備を伴う情報共有については、こうした国の動向や、他の先進事例なども注視しながら、各病院におけるシステム改修のスケジュール等も踏まえ、検討していきたいと考えております。

驚見議員

県は、マイナンバーカードの活用等による、医療ビッグデータを生かした医療施策の推進に取り組んでいるのか。また、今後の展望についてはどうか。

係部局がリーダーシップを発揮することを強く要望する。

驚見議員 幕張海浜公園におけるアリーナ建設による周辺道路の渋滞など、想定される課題について、県はどう考えているのか。

都市整備局長

幕張海浜公園におけるアリーナ建設については、プロバスケットボールのホームアリーナの建設を検

知事

県では、地域における医療の課題を把握するため、急性期病院等から医療データを収集し、この結果把握をした小児医療や救急医療等の地域毎の課題について分析する事業を進めているところであり、今後、地域の関係者による協議の場で検討を行います。

また、現在、国において、デジタル技術の活用により医療の質の向上や、業務効率化等を推進するため、マイナンバーを用いて保健・医療等に関する情報を共有する「全国医療情報プラットフォーム」の構築が進められており、県では、マイナンバーを活用したオンライン資格確認システムの普及啓発や、電子処方箋システムの導入に対する助成等を医療機関等に対して行っています。

医療ビッグデータを医学研究や創薬に活用することにより、医療水準の向上や健康寿命の延伸等が期待できることから、国の動向を注視しつつ、引き続き、データ活用等に向けた体制整備に取り組んでまいります。

討したいとして、令和6年3月に、千葉市から県に対し協力依頼があり、情報共有や協議を進めてきたところです。

道路渋滞などの課題については、千葉市と事業者が進めている地域住民との意見交換会の中でも意見が上がっており、千葉市や事業者としても課題解決に向けて丁寧に対応することとしています。

高齢化社会へ必要な交通の確保が重要

驚見議員 現在の我が国の都市構造は、都市部では鉄道を軸としたまちづくりが成立しているが、それ以外の地域では、車がなければ生活が成り立たない「車社会」が主流である。

しかし、高齢化により、自家用車を手放す高齢者が増加する一方で、地域のバスや鉄道などの公共交通機関は赤字や運転手不足により、減便・廃止が進んでいる。

また、高齢化とともに、交通を担う労働力の確保も深刻な課題である。

そこで何う。高齢者の通院の足などとして重要な役割を果たしている公共交通を、どのように維持・確保していくのか。

知事 高齢化や運転免許証の自主返納により、公共交通を必要とする方は増加

しているが、一方で、運転手の不足等により、交通事業者だけで十分な移動手段を提供することが難しい地域も出てきています。

こうした地域では、バス路線の再編や交通モードの転換に加え、医療施設等が利用者を送迎する車両を、地域住民の移動にも活用するなど、地域の様々な輸送サービス資源とも連携して、



自席から要望する驚見議員

障害者へ適切な歯科医療を

驚見議員

近年、一般の診療所でも軽度の障害者を

受け入れる例が増えているが、千葉県には県立の障害者歯科診療室が設置されておらず、重度障害者への専門的な歯科医療は主に二次、三次医療機関に依存しているのが現状である。

重度知的障害や発達障害、肢体不自由などで通常の外

来診療が困難な患者に対し、全身麻酔下での治療から口腔リハビリまで一貫して提供できる専門体制を備えた医療機関はほとんどない。

また既存の施設も都市部や北西部に偏在しており、県全域を包括的にカバーできていないのが現状である。

そこで何う。障害者に対する歯科口腔保健について、

必要な移動手段を確保することも重要だ。

このため、県では、今年度から新たに、市町村や交通事業者に対する、専門的なコンサルタントによる相談支援を行うとともに、実証事業等への補助を行っているところであります。

県には既存の手法にとらわれないで、県独自の柔軟で先進的なモデルの構築と、技術導入・制度設計におけるリーダーシップの発揮を強く求める。

知事 においては、強いリ

千葉県歯科医師会の協力を得て、障害のある方に対応できる歯科医師の育成を行うとともに、地域で受け入れが可能な医療機関を県ホームページで周知しています。

加えて、障害者支援施設等の職員や保護者等を対象に、口腔内の保健指導や、摂食・嚥下指導に関する研修を実施するなど、障害がある方の口腔機能の保持増進に努めているところです。

驚見議員 県の事業としての障害者歯科診療室の設置について、どのように考えているのか。

保健医療担当部長 障害のある方が口腔の健康を保つためには、「かかりつけ歯科医」を持ち、地域で歯科健診や歯科治療、歯科保健指導などを受けることができる環境づくりが重要です。

このため、県では、「かかりつけ歯科医」の普及に向け、

「超高齢化社会において県民がどこに住んでも誰一人取り残されないような、移動手段を整備・構築していただきたい。」

驚見議員 路線バスの運転手確保に向けた県の支援について、現状と今後の方針はどうか。

総合企画部長 県では、路線バスの運転手を確保するため、令和6年度から、「路線バス運転手確保対策事業」により、人材確保に取り組みバス事業者に対する補助や、県主催の就職イベントを実施しています。

昨年度は、休憩室やトイレの改修等の労働環境整備への補助などを行うとともに

では、一般の歯科診療所では難しいと承知しています。

県としては、今後、歯科診療を実施する病院における障害者歯科の診療内容や受入状況など詳細な実態を把握するとともに、他自治体の状況等も参考に、障害のある方が安心して歯科診療を受けられる体制のあり方について、関係機関や福祉関係者の意見も伺いながら、研究を進めてまいります。

要望 多くの障害者団体からも、要望を多くいただいているところであり、是非、知事におかれては、県の事業としての障害者歯科診療室の設置について、強く要望させていただきます。

警察官の採用難への対応

驚見議員

就職適齢人口の減少等により、治安維持を担う警察官の採用についても極めて厳しい状況にあるという報道があった。

治安情勢に目を向けると、県内において、匿名流動型犯罪グループの犯行とみられる凶悪犯罪が連続発生したほか、令和7年上半期の特殊詐欺の被害額は過去最悪であった。

また、県が実施した「令和6年度県政に関する世論調査」によると、地域の犯罪発生状況が多くなったと感じる割合が令和4年度の調査と比較して約2倍に増えるなど、県民の体感治安は悪化しているといえる。

そのような中、警察官のマンパワーは必要不可欠であり、警察官の採用活動を強化する必要があると考える。

そこで何う。昨今の警察官採用試験の状況はどうか。

警察本部長 過去5年間の警察官採用試験の状況は、応募者数、受験者数ともに減少傾向にあり、さらに合

流の場を企画するとともに、参加者の利便性向上のため、オンラインで参加できる説明会も実施するなど、今後、バス運転手の確保に向けて効果的な支援に努めてまいります。

格後の辞退者数は増加傾向にあるなど、採用情勢は極めて厳しい状況にあります。

直近の応募状況と採用状況については、本年5月に実施した令和7年第1回警察官採用試験では、1,414人の応募があり、うち、1,008人が受験、最終的に515人を合格としており、競争倍率は、約2.0倍となりました。

驚見議員 厳しい採用情勢の中、採用活動で工夫している点はあるか。

警察本部長 警察官の採用情勢が年々厳しくなる中、県警では組織を支える人材を確保するため、募集活動の強化及び試験制度の見直しに取り組んでおります。

具体的には、従来の採用募集活動に加え、若者世代の特性を意識した体験型の就職説明会のほか、採用募集に特化した「Instagram（インスタグラム）」や「X（エックス）」を開設するなど、SNSを活用した魅力発信に取り組んでおります。

一方、試験制度の見直しについては、今年度の試験から、「SPI3（エスピーアイスリー）」の導入、受験上限年齢の引き上げ、資格加点対象の拡充を実施しております。

すみ隆仁

県議事務所

〒261-0001 千葉市美浜区幸町1-2-2 桑田ビル3A
TEL 043-246-5066 FAX 043-262-9930
mail: sumitakahitokouenkai@gmail.com

〇経歴〇

- ◆1979年2月 千葉市生まれ
- ◆千葉大学付属小学校、市川学園市川中学校、市川高等学校、日本歯科大学卒、日本大学大学院修士課程修了
- ◆2019年5月 千葉市議会議員選挙で当選
- ◆2023年4月 千葉県議会議員選挙で当選

- ◆現職 健康福祉常任委員会副委員長 商工議員連盟委員 医療問題議員研究会 幹事 千葉県歯科医師連盟 参与 法務省保護司